

平成 22 年第 1 回周防大島町国民健康保険運営協議会審議概要

1 . 開催日時 平成 22 年 2 月 4 日 (木) 午後 1 時 58 分から午後 3 時 42 分まで

2 . 開催場所 周防大島町役場橋庁舎 3 階大会議室

3 . 出席者

委員 松岡宏和、福田みち彥、山田修、正木純生、川口茂治、中村瑞美、
中元みどり、大村 繁、尾元 武 (以上 9 名出席)

二宮民子、泉原紳一、岡崎政幸 (以上 3 名欠席) (敬称略)

説明のため出席した町職員 岡村副町長、田村健康福祉部長、国光博史税務課班長、
西山主査、東原健康増進課長、川口健康づくり班長、島本主任保健師、岡野
医療保険班長、後藤主幹、島元主査 (以上 10 名出席)

4、配布資料

(1) 平成 22 年第 1 回周防大島町国民健康保険運営協議会 (次第)

(2) 平成 22 年第 1 回周防大島町国民健康保険運営協議会 (周防大島町税務課)

(3) 特定健康診査等実施計画

(4) 国民健康保険特別会計の財源実績と推計

5 . 会議の概要 (主な項目)

(1) 会長及び職務代理者の選出について

公益を代表する委員の中から会長に大村委員を、会長職務代理者に中元委員
をそれぞれ指名推薦の方法により選出した。

(2) 議事録署名委員の選任について

大村議長 (会長) が、名簿 2 番の福田委員及び 4 番の山田委員を議事録署名委
員に指名した。

(3) 審議事項

協議事項

平成 20 年度国民健康保険事業特別会計決算状況及び同 21 年度予算執行状況に
ついて

(質疑)

周防大島町の場合、平成 20 年度一般分 1 人当たりの費用額が県内 20 市町中
4 位であるが、国保税は 18 位となっており、保険税に比べて使い方が多いとい
うことになるのかとの質疑があり、事務局が本町には地域に特有の疾患があり、
これに対して平成 19 年度までは国から約 1 億 2 千万の調整交付金が下りていた
ため比較的国保税が低く抑えられたこと及び 20 年度からこの調整交付金が約 6
千万に減額されているため財政状況が悪化している旨を説明した。

諮問議案

周防大島町特定健康診査等実施計画の一部変更について

(質疑)

特になし

(決定) 異議なく原案どおり承認。

平成 22 年度周防大島町国民健康保険事業特別会計予算案について

(質疑)

平成 22 年度中にしまとびあスカイセンターから訪問看護ステーションが大島病院に移管されることに伴い運営の国庫補助金が無くなり、町保健師も常駐しなくなることにより、従来の施設の借入申込の手続き方法が変わるのか質疑があり、事務局が保健福祉関係の申請は大島総合支所に変更になるが、貸し館業務は社協に委託するので従来通りしまとびあでできる旨を説明した。

(質疑)

平成 22 年度の国保税の予定徴収率が 93.54%となっており、これを徴収率の目標とするのでは低いのではないかとの質疑があり、事務局が予算計上額は 5 年間の平均等により徴収率を算出しており、徴収は差し押さえ等により徴収率の向上を進める旨を説明したが、質問者より一層の徴収率の向上を求められた。

(決定) 異議なく原案どおり承認。

以上 2 件の諮問に対する答申文について、資料末尾の答申原案どおりとする旨の了解を得た。

(4) 事務局より下記について説明した。

- ・ 資格世帯の高校生にかかる短期証の交付について、国の法令改正に合わせ実施する予定であること。
- ・ 本年 10 月または 11 月に第 2 回の当協議会を開催する予定であること。